

令和2年度天皇杯・全日本レスリング選手権大会

期間：令和2年12月17日（木）～20日（日） 場所：東京都世田谷区駒沢体育館



自衛官アスリート 6階級制覇

提供=日本レスリング協会

令和2年度天皇杯・全日本レスリング選手権大会は令和2年12月17日（木）～20日（日）の4日間、東京都世田谷区駒沢体育館で行われた。今大会は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため出場選手を1階級8選手に絞り、大会関係者の体育館への入場制限や事前検温等、十分に感染対策を行い実施された。また、今年度、全日本クラスの大会が、相次ぎ中止となっていたため本大会は今年度初の全国クラスの大会となった。

自衛隊体育学校第2教育課レスリング班からは、赤熊猶弥2等陸尉以下32名（うち集合訓練参加者5名）が出場した。男子フリースタイルから3名、グレコローマンから2名、女子フリースタイルから1名の合計6名が優勝し、大会を盛り上げた。

また、フリースタイル125kg級とグレコローマン87kg級では体育学校の選手が表彰台を独占する活躍を魅せた。

Freestyle 97kg 優勝 赤熊 目指すは東京五輪出場



4度目の優勝を飾った
赤熊2尉

大会2日目、フリースタイル97kg級に連覇を狙う赤熊猶弥2等陸尉が出場した。第1シードにより準決勝から始まった赤熊2尉は、昨年度天皇杯2位で長年のライバルの山口剛選手（新日本プロレス）に4-2で勝利。迎えた決勝は初優勝を狙う石黒峻士選手（新日本プロレス）との対戦となった。開始1分56秒10-0のテクニカルフォールで勝利し、3年連続4度目の優勝を飾った。

「今年是世界選手権に出るつもりで準備してきた。その世界選手権がなくなり、昨年の天皇杯後国内大会には出場しないと決めていたので、今大会に出場するか最後まで迷ったが出てよかった。準決勝と決勝は緊張した中で勝てた。今後は来年3月のオリンピックアジア予選に向けしっかり準備していきたい。」と語った。

Freestyle 79kg 初優勝 吉田 入隊後、着実に力を付ける

初優勝

栄冠を手にした。

「自衛隊体育学校に入り、自分に足りないところを徹底的に指導してもらい、日々学ぶことが多く、成長のスピードが早く感じる。来年度の明治杯でもう一度優勝し、海外選手と勝負できるレベルになっていきたい。」と語った。

大会3日目、フリースタイル79kg級に今年度入隊した吉田隆起2等陸曹が出場した。準々決勝は不戦勝で進み、準決勝、梅林太朗選手（早稲田大学）に5-2で勝利。決勝ではこの階級で昨年度明治杯優勝、世界選手権出場経験のある高橋夢大選手（日本体育大学）に8-7で勝利し、初の



成長著しい吉田2曹

PHOTO GALLERY

自衛隊体育学校の活躍・活動をWebサイト、Instagramでご覧ください。

http://www.mod.go.jp/gsd/phy_s/index.html

自衛隊体育学校 検索

